

令和2年度第1回自転車等駐車対策協議会議事録

1 開催日時 令和2年7月20日(月曜日)午後2時～午後3時30分

2 開催場所 市役所12階 大会議室

3 出席者

【会長】	中部大学 工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委員】	国土交通省 名古屋国道事務所 事業対策官	岩田 成人
	愛知県春日井警察署 交通課長	前田 健策
	愛知県尾張建設事務所 維持管理課長	増岡 浩仁
	愛知県自転車モーター商協同組合	
	春日井支部 副支部長	安藤 公一
	かすがい女性連盟 会計	石原 美恵子
	春日井市区長町内会長連合会 副会長	松本 伸雄
	春日井商工会議所 専務理事	山田 真平
	東海旅客鉄道株式会社管理部企画課 課長代理	豊田 智隆
	民間自転車預かり所 代表	近藤 浩
	春日井市総務部市民安全課 主幹	落合 邦和
	春日井市建設部 道路課長	荻谷 健生
(参考人)	春日井市教育委員会事務局 学校教育課指導主事	篠原 秀麿
【事務局】	春日井市建設部次長兼まちづくり推進部 次長	堀尾 朋宏
	春日井市まちづくり推進部都市政策課	
	課長	森 浩之
	課長補佐	三浦 晶史
	課長補佐	松浦 武幸
	主査	長谷川 正孝
	主査	津田 哲宏
	技師	林 早帆
	技師	菊池 滉記

4 議題

- (1) 協議事項 1 自転車活用推進計画について
- (2) 報告事項 1 高蔵寺駅周辺自転車等駐車場の取組について

5 会議資料

- ・令和2年度第1回自転車等駐車対策協議会次第
- ・令和2年度第1回自転車等駐車対策協議会配席図
- ・春日井市自転車等駐車対策協議会出席者名簿
- ・資料1 自転車活用推進計画の策定に向けて
- ・資料1-2 春日井市自転車活用推進計画について（今後のスケジュール）
- ・資料2-1 高蔵寺リ・ニュータウン計画（抜粋）
- ・資料2-2 春日井市公式ホームページ（写）
- ・資料2-3 高蔵寺駅周辺自転車等駐車場の取組

6 議事内容

- (1) 会議の公開、議事録の作成について

【事務局】

資料に基づき、議事録は要点筆記とし、会長及び会長が指名する者が署名する案を提案した。

【磯部会長】

全員賛成により、会議は公開とし、議事録及び署名者は事務局案のとおりとし、今回の署名者として岩田委員を指名した。

【事務局】

本日の傍聴者は1名であることを報告し、傍聴者1名が入場した。

- (2) 協議事項 1 自転車活用推進計画について

【事務局 長谷川】

資料1及び資料1-2について説明を行った。

【磯部会長】

委員に事務局の説明に対する意見を求めた。

【落合委員】

交通安全教育の立場からすると、春日井市は事故が多く交通安全教育の必要性を痛感した。但し、今回は自転車活用推進計画の立案であることから、都市環境の整備を基本としたハード面の整備を前提として、健康づくり、観光づくりのソフト面を整理していくべきではないか。そのうえで、交通ルールを守らない人達に交通安全教育を実施していくという流れではないか。この点から活用推進計画の対策の順番を入れ替えた方がよいと考える。

【石原委員】

細かに調べてありとても良いと感じた。1 ページに書いてあるとおおり、総合計画やマスタープランや交通安全計画、環境基本計画の中で、既に目標を立ててチェックしていることもあるので、それらの計画の進捗状況等もきちんと把握しながら実りのある計画として作って行っていただきたい。さきほど、落合主幹がおっしゃったように、最初に来るのは道路環境の整備であり、整備が進めば事故も少なくなるのではないか。

【磯部会長】

資料 1 の 6 ページ目に通行環境がある。自転車も車両なので道がないと走れない。しかし、道は自動車も自転車も通る。歩道は歩行者もいる状況で混在して道を使っている。自転車利用者の立場としてはどこを走ればいいのかという疑問を持つ。歩車分離されているか、歩車分離されていないかで自転車はどこを走ればいいのかということになる。信号交差点の渡り方も話題となる。つまり、自転車利用者のさまざまな状況で自転車事故の発生個所を理解する必要がある、難しいことだが通行環境の整備をしてほしい。

【安藤委員】

今までの議論とは反することを述べるが、自転車が走る場所は決まっている。それを知らないでいる、もしくは、知っているのに交通ルールを守らないことが問題ではないか。まずはそこを検討していく、そっちが先なのではないか。もう一つ思うのは、小学生の交通安全教育だけではなく、中学生、高校生にも交通安全教育を実施する事が必要ではないか。

【事務局 三浦】

春日井市は事故が多いというところから、資料の作成方針として、交通安全に関する内容を手厚くして、現況整理しており、少し偏りがあったと考える。素案としてご意見を聞くときには、両名の委員のご意見を踏まえて検討・整理し作成する。

【岩田委員】

自転車利用者に対する教育も必要であるが、自動車利用者に対する啓発も必要ではないか。自転車利用者と自動車利用者が協力して道路を使うということを、自動車の運転者に対し教育することも今後記載していく必要があるのではないか。通行帯が整備されていればここは自転車が走る場所、矢羽根が整備されていれば自転車が走るという認識を自動車運転者に持っていただくことが必要ではないか。

【磯部会長】

今日は第 1 回ということで現状整理ということだが、推進計画を完成した時に、何をどうすればいいか、誰がどのように関わっていけばいいか、最後のまとめをどうするか、そういったイメージがあるかどうかで議論が変わる。計画の完成形の資料構成、資料内容のイメージは事務局にあるのか。

【事務局 長谷川】

資料 1 の 9 ページで示している計画の枠組みの構成で、自転車活用推進計画が一目瞭然で分かるものを最後に提示していきたい。複数のページに記載するが、最後に総括のペー

ジを作成し、そこを見れば、春日井市の活用推進計画がわかるというようにまとめていきたい。

【事務局 森】

まもる、はしる、とめる、いかすという大きな方針として、4つ項目を出しているが、交通ルールを守る点については、市民安全課でも地域に入って説明している。3つめのとめるについては、都市政策課で管理している駅周辺の駐輪場であったり、建築指導課では開発の指導であったりするなど、駐輪場整備をさせてもらっている。最後の「いかす」については、環境が整ってきた段階で、どのような工夫ができるのか、これからの段階である。今回の計画では「はしる」について、ハード面のネットワークの方向性を示したいと思っている。ネットワーク計画図面を示して、5年10年と計画を進めていきたいと考えている。

【磯部会長】

市役所の中で分担している仕事を、連携していく必要がある。

【松本委員】

1ページ目に市の上位計画が3つ記載してある。具体的な内容を記載してほしい。

【磯部会長】

総合計画とか、いろいろな計画を記載しているので、当たり障りのない表現になっている。自転車関係の記載は、的確に抽出して市役所内で連携が取れるとよい。

【石原委員】

キーワードで分かりやすくしたとのことだが、従来の計画からすると分かりにくい。「まもる」は誰が守るのか。従来は事業者、市民、行政の対応内容が細かく分かれていた。はっきりと「行政は啓発する、警察は取り締まる」などの細かい点がみえにくい。資料の意図を教えてください。

【事務局 三浦】

資料 1-2 の裏面には①から⑥まであり、今回は①から③までの整理をしている。今後は課題の方向性を考え、⑤で具体的な実施すべき施策を提示したい。

【磯部会長】

市が実施主体のものと、個人や学校等の別の組織が実施主体のものがある。その関係がわかるようにしてほしい。「みんなでやる」のみんなが具体的にわかるようにしてほしい。

【山田委員】

私は、10数年前に安全安心なまちづくりの委員をやっていた。実際に車いすで街を歩いた。その時の経験から、机上での話し合いのみではなく、例えば実際に市役所から春日井駅まで自転車で走ってみると認識がひとつになると思う。そういう中で計画を策定するのも一つの方法であり、現実が分かると思う。

【磯部会長】

実際に自転車に乗り映像を撮るというのも証拠集めになる。少し検討してほしい。

【荻谷委員】

道路管理者にどのような苦情が入るかということ、自転車が安心して通行できるところが

ないという意見をいただく一方で、朝晩の車の渋滞に関する意見も同じくらい多くいただく。車の渋滞対策と自転車の通行帯が相反しており、そのようなハード面をクリアするには時間がかかると考えている。また、歩道にある街路樹が多く生えていて、大きく育った木が視認性を悪くしており、自転車事故に繋がっていることも多々ある。街路樹の問題、歩道の通行環境の問題がある。昔に作った歩道は狭く都市計画道路で通学路なのに1.5mしかないところも多々ある。歩行者が歩くところも狭いのに路肩に自転車の道を作るということは、今の道路幅では限界である。その中で、自転車走行環境の必要な路線を設定するときに、どうやって改良したらよいか、どのような像を描いていくかということに、みなさんのお知恵をお借りできたらと思う。

【磯部会長】

道路は一度作ると幅員を拡張できない。一定幅確保するとそれを連続して確保したいということになる。そうすると、特定箇所だけ直しても解決にならない。計画遂行時は、市全体でやるのもいいが、モデル路線を設定し、お金をかけなくても少し工夫をしてなにかできたらと思う。成果の一つとして検討してほしい。検討事例はいろいろあると思うので事務局の方で精査をすること。良い意見が出たので、事務局はしっかり整理し、6項目中残り3項目を検討するときに考慮して欲しい。

【事務局】

了解した。

(3) 報告事項1 高蔵寺駅周辺自転車等駐車場の取組について

【事務局 菊池】

資料2-1、2-2、2-3について説明を行った。

【磯部会長】

委員に事務局の説明に対する意見を求めた。

【磯部会長】

駐輪場の利用率というのは、結構埋まっているということでよいか。

【事務局 松浦】

北口、南口、いずれの自転車駐車場についても定期券購入待ちが発生している状態である。

【磯部会長】

無くなってはいけない所であるため、臨時代替措置を進めているということである。新しく臨時で移す時、街の中に入っていくため、ご近所の迷惑にならないようにして欲しい。

【石原委員】

いつ頃までに計画を終わる予定なのか。

【事務局 松浦】

北口に新しい自転車駐車場の整備や、南口のバイク置場に関しては、高蔵寺駅のバスロ

一タリーを含めた再整備の検討を行っているところであるため、現時点で整備完了が何年度になりそうかは決まっていない。緊急性のある北口自転車駐車場旧館の廃止については、来年度中までに対応が必要であると考えている。

【磯部会長】

駐輪場の話プラス北口のバス及び自家用車の回転場も再整備しようというプロジェクトということで、リニューアル期間中のご迷惑については皆様のご理解をいただきながら進めて欲しい。

【事務局】

了解した。

上記のとおり令和2年度第1回春日井市自転車等駐車対策協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名及び押印する。

令和2年8月24日

会 長 磯部 友彦

署名人 岩田 成人